

## 教育センター情報『窓』

### 【研究主題】 教師一人一人の 主体的な取り組みに よる授業の改善・充実 算数科のT・Tを通して

館岩村立上郷小学校教諭 星 尚子  
(前 田島町立檜沢小学校)

#### 一 研究の趣旨

児童生徒の学力向上を図るとい  
う本県教育の課題を踏まえ、本校  
(田島町立檜沢小学校)でも平成八  
年度から算数科を中心とした「基  
礎学力向上プラン」を作成し、T・  
T方式による研究を進めてきた。  
その結果、標準学力テスト(N  
RT)の偏差値も平均四十八から  
五十一へと伸びがみられた。また、  
T・Tによる授業に対して「分か  
らない時すぐ教えてもらえる」「自  
分の考えをよく見てもらえる」な  
どの声が児童から聞かれるよう  
になった。

しかし、指導にあたってきた学  
級担任からはT・Tを通して解決  
したい問題点も上げられた。それ  
らの問題点はよりよい授業をし  
たいと考える教師自身の指導力向上  
に対する願いであるともいえる。

それらの願いを意識化し、教師一  
人一人が日々の授業に意欲的に取  
り組むことにより、基礎学力向上  
に向けた授業の日常化が図られる  
ものと考ええる。そのためには、

● 教師一人一人の願いを意識化  
させる環境であったか

● 教師の願いに応える指導援助  
があったか

● 指導力向上のための主体的な  
取り組みがあったか

という点から授業実践の充実につ  
いて反省しなければならぬ現状  
がある。

そこで、教師一人一人が自己の  
課題を持って主体的に学習指導の  
改善を進めることが日常の授業充  
実を図る取り組みとなり、さらに  
教師一人一人の指導力向上にも結  
びつくものであると考え、この研  
究を進めていくことにした。また、  
教務主任として校内研修の推進を  
図るとともに、各学級担任とわか  
わるT・T教員としての立場から

も日々の授業に取り組んでいくこ  
とにした。

#### 二 研究の見通し

算数科のT・Tにおいて、教  
師一人一人が自己の課題を明確  
にし、授業実践反省記録の累積  
を生かし、日常の授業改善に努  
めれば、指導力が向上し、授業  
の充実が図られるであろう。

#### 三 研究の方法と内容

(1) 個人課題の設定

(2) 学校担任一人一人の課題をも

とにした意識調査

(1) 授業実践と反省記録の累積

(2) 課題にそった授業実践への協

力援助

(1) 反省記録の累積と分析

(2) 基礎学力向上プランの推進

(3) 「授業の中で」の指導

(4) 「授業外で」の指導

#### 四 研究の概要と考察

(1) 個人課題の設定

(2) 個人課題と手立てにそった実

践記録

○ T・Tを実践している学級担  
任から個人としてとらえている  
課題とそれに対してどのような  
取り組みでいきたいかを聞き、  
その場合のT・T担当者として  
のかかわりを提示し、個人課題  
から授業改善に向けての実践に  
あたった。

#### 【授業反省についての考察】

○ 自力解決場面での個への支援  
や操作活動において、役割を明  
確にしたT・Tが効果的だった  
ととらえている。

○ 教材研究の必要性や大切さが  
上げられており、それがT・T  
の打ち合わせに役立つと考えら  
れる。

○ 話し合いと学習のまとめの時  
間を確保し、評価に生かそうと  
する努力がみられた。

○ 児童一人一人の考えの生かし  
方、指導に入る前の実態のとら  
え方、レイネスの高め方が今  
後の努力点として上げられる。

#### ② 課題意識調査と変容

○ 先生方の意識を「児童の実態  
把握」「教材研究」「指導」「評価」  
の観点から調査した。観点を授  
業の充実結びつく内容とし、  
その中で先生方が自己の課題を